

パネルディスカッション  
「臨床研修の安全管理のあり方を考える」

安全管理の観点から臨床研修の課題と  
対策について考える。

# パネリスト

1)麻生飯塚病院 井村 洋 先生

(臨床研修教育室室長／総合診療科部長)

話題提供 「標準手順作りと技能評価」

2)沖縄県立中部病院 平安山 英盛 先生

(副院長)

話題提供 「手技習得に関する研修計画と評価」

3)佐久総合病院 川尻 宏昭 先生

(研修医教育委員会副委員長／総合診療科医長)

話題提供 「指導要領と指導医研修」

4)東北大学付属病院 本郷 道夫 教授

(卒後研修センター長／総合診療部部長)

話題提供 「シミュレーターの有効活用」

5)名古屋大学医学部付属病院 高橋 英夫 先生

(ジェネラル・リスク・マネジャー／ICU救急医学助教授)

話題提供 「院内緊急時の対応体制づくり」

6)東京電力技術開発研究所主管研究員 河野 龍太郎 氏

話題提供 「トレーニング途上の安全管理」

# コメンテーター

- 三宅祥三氏 (武蔵野赤十字病院院長)
- 大川禎子氏 (国立仙台病院GRM)
- 飯塚悦功氏 (東京大学工学系大学院教授)

# 臨床研修の安全管理

研修医、新人ナースが行う侵襲処置の危険危機管理を中心に

1. 「リスク因子の予知分析と安全を配慮した標準手順」
  2. 「シミュレーション・トレーニングの活用」
  3. 「院内救急体制」
  4. 「手技の教え方ー研修指導の方法と指導要領」
  5. 「技能評価」
  6. 「安全教育教材の開発」
  7. 「指導医・指導ナースの研修と指導要領」
  8. 「勤務体制と配置」
  9. 「患者さんに説明するためのパンフやツール」
  10. 「MMカンファレンス」
- など。

# ＜リスク因子の予知分析＞

- 傷害を起こさないための手順上の注意事項
- 傷害が発生したことを発見する手段
- 傷害発生時の対処方法／拡大防止措置
- 手順を正しく行えるためのシステムと体制
- 発生時の適切な対処を可能にするためのあらかじめの備え(システムと体制)



- 安全を考慮した標準手順と遵守事項
- 手技訓練を実施すべき事項
- シミュレーター訓練の活用と開発
- 病棟・院内の体制づくり
- 使用する資機材の標準化

# リスク因子の予知分析

手技			
傷害について  安全対策の概要	1	(直接原因)	
	2	(メカニズム/間接原因)	
	3	傷害の発生頻度	(調査結果、文献情報、または推定)
	4	傷害の重大さ	(注①) *
	5	傷害を起こさないための留意事項	(コツ/してはいけないこと)
	6	傷害が発生したことを発見する手段	
	7	傷害発生時の対処方法/拡大防止措置	
	8	発生時の適切な対処を可能にするための備え/予防措置	(傷害の発生を想定してあらかじめ準備しておくべきこと)
<安全な実施手順と遵守事項>			
		作業区分(プロセス)	実施手順 (作業事項・操作事項)
<安全な研修環境>			
	1	研修・指導計画で考慮すべき事項	
	2	手技訓練を実施する事項	
	3	その他 (シミュレーターの活用や開発要否など)	
	4	病棟・院内の体制	
	5	使用する資機材の標準化	
	6	実施するとよい調査と調査方法	
	7	患者さんに必ず説明しておくべき事項	
	*	物品標準の参照、技術標準の参照、標準手順の参照、その他の参照	

# 所見

1. 手順が標準化されていない
2. 手技上の留意事項について、根拠が確認できないものが多い
3. 機器や医用材料も標準化されていない
4. 研修医が実施する処置の範囲は施設によってかなり異なっている
5. 合併症の理解にばらつきがある
6. 頻度の少ないAE(事故)については発生機序が明らかでない
7. 技能評価の方法、危険手技の実施資格要件が明示的でない
8. 想定されるインシデントに対処できない医師が行っている
9. 事故発生時の対応指針が未確立

# 検討課題

1. 安全を考慮した標準手順の作成
2. 手技の訓練の方法、および、どのような段階を経て習得してゆくかという研修計画のあり方
3. 技能評価の方法
4. 模型型シミュレーターやインシデント疑似体験型シミュレーターの活用および運営の方法
5. 指導医の研修と指導要領
6. 事故発生時の院内救急体制
7. 研修医の安全教育
  - 臨床医としての適性の判断や不適格医師への対処はどうしているか
  - 勤務体制、配置、勤務時間
  - 患者さんへの説明と説明に役立つツール(パンフ、ビデオなど)
  - MMカンファレンス ほか。



# 安全を考慮した標準手順の作成

- 根拠(裏づけ)
  - － レファランス; 研究報告、事例、EBM
  - － オーソリティ
  - － 調査、研究
- コンセンサス
  - － 「まだ裏づけがないこと」の確認を含めて
- 標準手順の教育と標準手順の改定



# 手技の教え方

- 何を教えるか
  - －手技
  - －インシデントへの対処法
  - －適応判断、患者への説明、その他———
- 手技の訓練の方法
- どのような段階を経て習得してゆくかという研修計画のあり方
- 何が準備されるべきか



# 技能評価の方法

- どこまでやらせてよいか？の判断基準
- だれの、何を、どうやって、知るか（測るか）？



# 模型型シミュレーターやインシ デント疑似体験型シミュレー ターの活用および運営の方法

- 模型型シミュレーター
- インシデント疑似体験型シミュレーター
- 運営の方法、有効な活用方法



# 指導医の研修と指導要領

- 教育モジュール&教材
- 資格認定



# 事故発生時の院内救急体制

- 想定するインシデント・事故と院内救急体制
- 院内救急体制が作れない事項に関する事故  
予防措置



# 研修医の安全教育

- 卒然教育
- 卒後教育



- 臨床医としての適性の判断や不適合医師への対処はどうしているか
- 勤務体制、配置、勤務時間
- 患者さんへの説明と説明に役立つツール(パンフ、ビデオなど)
- MMカンファレンス

ほか。

